

## 活動状況報告（10月）

学生留学コース 4期生 大久保 辰哉

みらチャレ4期生の久保辰哉です。

10月はホームステイからシェアハウスに家が変わったり、語学学校のクラスが変わったりと慌ただしい日々を過ごしていました。その中でも時間を作って積極的に現地のスポーツの取り組みを調査してきました。

今月は留学目標の一つであった「巨大スポーツ施設とその周辺施設、地域との関連」を中心に学んできました。具体的にはメルボルンに数多く存在するあらゆるスポーツの巨大施設に足を運び、現地スタッフの方やコーディネーターの方にヒアリングをさせていただいたり、実際にその施設で行われているスポーツイベントに参加して現地の人たちとの交流を図り、スポーツと地域がどのように関連しているかを調査してきました。

特に、テニスの全豪オープンのお会場であるメルボルン・パークでは、大会開催期間中以外にも一般の方向けにコートを開放しており、小学生を対象にした教室や地域の人々が活発に交流できるようなセッションをほぼ毎日行っており、スポーツ施設と地域の繋がりを強く感じました。実際にプレーしている子供たちに話を聞いてみると「プロの選手が使用しているコートでプレーできるのが嬉しい！学校では沢山のスポーツを体験できるから僕たちはみんなスポーツが好きだよ！」という話をしてくれました。

また、MCG(Melbourne cricket ground)に訪れた際には、私の想定する未来で描いたような、スポーツ施設と他施設の融合が見事にされており、カフェやバー、ショッピングセンターや子供の遊び場などが内在・近接しており、スポーツを通して地域の経済が、人々が盛り上がっていく様子を生で体感することができました。

さらに、実用的な英語力を身につけるために通っている語学学校では、EXTREME クラスという発展クラスの修了証明書を無事獲得することができました。

学校でできた友達やシェアメイトたちと積極的に話すことで英語力も格段にアップしてきており、楽しく留学生活を送れています。語学学校には各国の生徒が在籍しており、彼らの国のスポーツ環境・文化を聞くことで、日本との教育の違いや日本に取り入れるべき点が見えてきたりもします。これからも自分の目標を達成するべく行動し続けていきます。

